

平成28年度第2回(栄養学・薬学・看護学・体育学)グループ合同委員会議事概要
(栄養学・薬学)教育FD/ICT活用研究委員会
CCC(看護学・体育学)グループ運営委員会

- I. 日時 : 平成28年10月2日(日) 13:00~15:00
II. 場所 : アルカディア市ヶ谷(私学会館)7階 鳥海
III. 出席者 : 栄養学教育FD/ICT活用研究委員会 武藤委員長、中川委員、原島委員、酒井委員、石崎委員
薬学教育FD/ICT活用研究委員会 黒澤委員長、齊藤委員、松山委員、大嶋委員、松野委員、
徳山委員
CCC看護学グループ運営委員会 仲井委員、北委員
CCC体育学グループ運営委員会 田附委員
事務局 井端事務局長、森下主幹、中村事務局員

IV. 議事概要

栄養学・薬学・看護学・体育学の分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の開催要項の検討

薬学の黒澤委員長が進行役座長となり、前回(第1回合同委員会)、議論された「健康維持・増進に向けた教育を分野連携で多面的に考える」を確認し、新たに委員から提出された「話題提供メモ」の説明を受けた後、対話集会における話題提供等具体的な開催内容について検討を行った。

(1) 意見交換のテーマについて

新たに提出された話題提供メモ②~⑤について委員から説明を受けた。

資料②: 学会講演と、経産省ガイドブックから(栄養学 武藤委員長)

- ・医師会、厚労省、経産省の三者による「地域を支えるヘルスケアサービス事業」は、立場が異なる三者が分野連携で考える取組みであり、評価指標についても参考となる。

資料③: 「健康維持・増進」のためのアクティブ・ラーニングについて(栄養学 中川委員)

- ・厚労省が進めている「健康日本21」「健やか親子21」の取組みは、栄養領域だけでなく他の領域の学問により補完される重要な事例ではないか。

資料④: 多職種連携のモデル授業(栄養学 酒井委員)

- ・地域が抱える健康課題に対して各分野が連携する提案型の取組みが紹介された。実際に多職種連携授業を行う時のいろいろな課題や、他大学と連携しICT活用による多職種連携モデルを考え、映像コンテンツを共同制作アーカイブ化することなどについて議論し具体的な検討をすることが良いのではないか。

資料⑤: 「健康維持・増進」のためのアクティブ・ラーニング(栄養学 石崎委員)

- ・健康寿命を延ばすため栄養学・薬学・医学・看護学・体育学の学生は、それぞれの分野においてどのように社会との関わる事が出来るのかを主体的に考えさせることが良いのではないか。

話題提供などについての主な意見

- ・栄養学・薬学・看護学・体育学の分野が共通点で絞り分野連携の授業を行うのではなく、お互いに寄与するテーマ(例えばNST、在宅医療)に対し、それぞれの分野はどの様に多職種連携していくのかのモデルを考えることが良いのではないか。
- ・異なる分野の教員に枠を越えた新しい学びを考えてもらうには、テーマは「在宅医療」より広い範囲の「健康維持・増進」と捉えた方がより良いのではないか。
- ・若い学生に健康維持、増進を考えさせるには、肥満とか喫煙とか身近な健康維持、増進について分野連携の教育モデルを検討するのが良いのではないか。

- ・強いスポーツチームづくりでは各分野が分担し総合的に関わる分野連携が必要となっておりスポーツ学科の学生が地域とも関わっていることが紹介された。
- ・社会問題化している事柄を、分野連携で考えてみるものが検討出来るのではないかと。
- ・話題提供では、導入教育として、それぞれの立場からどのような授業が考えられるのかを提案してもらうことが良いのではないかと。
- ・医学・歯学は「多職種連携におけるモデル授業」の話題提供を行うことが確認された。

意見を踏まえて意見交換のテーマと話題提供を以下のように決定した。

課題を発見し、課題解決に向けた学びを主体的・協働的・創造的に展開していくアクティブ・ラーニングの手法と、それを実現していくための授業運営の工夫と組織的に推進していくための教学マネジメントの工夫について下記のテーマで意見交換を行う。

〈アクティブ・ラーニング〉

- ・知識の定着・確認を目指したアクティブ・ラーニング効果の振り返り
- ・知識の活用・創造を目指したアクティブ・ラーニング
- ・知識の活用・創造を学修する評価方法（ルーブリック・ピア評価・第三者評価など）

〈教学マネジメント〉

- ・授業の可視化
- ・教員間連携の促進

(2) 話題提供

① 「健康維持・増進とケアを分野連携で多面的に考える授業の提案」

栄養学分野	酒井 映子 氏	(愛知学院大学 心身科学部)
薬学分野	黒澤 菜穂子 氏	(北海道薬科大学 医薬情報解析学)
	松山 賢治 氏	(近畿大学 薬学部)
看護学分野	仲井 克己 氏	(帝京平成大学 地域医療学部)
体育学分野	田附 俊一 氏	(同志社大学 スポーツ健康科学部)

② 「知識の想像を目指した分野横断型授業」の提案

片岡 竜太 氏 (昭和大学 歯学部)

(3) 開催日時と場所

開催日時：平成29年1月22日（日）13:00～16:00

開催場所：帝京平成大学 中野キャンパス

V. 今後の予定

今回は対話集会とし、当日、事前打合せ会を実施することにした。